

令和6年(2024年)6月7日午前10時~11時30分
令和6年度くまもと県民カレッジ主催講座(前期)

復旧完了した熊本県最古の洋風建築物

~ジェーンズ邸の歩みとその価値~

熊本の宝
価値・魅力の再発見

熊本洋学校教師ジェーンズ邸
(熊本市中央区水前寺公園12-10)

現地学習

熊本洋学校教師ジェーンズ邸は 熊本県に現存する最古の洋風建築

洋館の特徴が見られるが、屋根は瓦葺、小屋組みは伝統的な和組、石で組む隅の装飾は漆喰仕上げで、日本の伝統的な建築技法が用いられた「擬洋風建築」**県指定重要文化財**



2018年熊本地震で倒壊
2023年移設復元
今回、明治期の建築を復元
柱・壁の色
よろい戸の隙間
瓦の配置 など



2階ベランダ
出入り口の
色ガラス



ジェーンズの希望で
後で付けられた煙突



地震倒壊直後から、部材や
展示資料などは保存のため
ブルーシートで覆われ多く
が救われた



部材が残って
いて再建でき
たおしゃれな
階段



鬼瓦に十の字
キリスト教の印
かと間違えらる
ことも

洋学校教師館の歴史(建物の変遷)

1、ジェーンズ居住時代

明治4年開学した「熊本洋学校」にアメリカからジェーンズを教師として迎えるために古城(現県立第一高校)に建築された。明治9年キリスト教に傾倒した教え子たちが花岡山で奉教趣旨書に署名誓約したことがきっかけで廃校となりジェーンズは熊本を離れた。

ジェーンズ先生が凄い! 熊本近代化の父

- *一人で20科目位の教科を教える
- *日本で初めての男女共学
徳富初子(徳富蘇峰・蘆花の姉)横井みや子(横井小楠の娘)など女生徒の授業参加を認める
- *パンや牛肉・牛乳などで生徒の栄養改善
- *野菜作り・果樹栽培・西洋のスキ・クワ・印刷機の導入

熊本で開かれた初めてのクリスマスパーティーはジェーンズ邸だった



生徒たちが凄い!

- *授業は全て英語、教科書は英語の原書による教育
- *洋学校の生徒は後に日本内外の教育界・宗教界・実業界のリーダーとして活躍

本日の講師

松永直輝氏

熊本市文化市民局文化財課
文化財保護主任主事



「博愛社創立許可の図」
総督有栖川宮親王と
同じ立位置をお願い
テーブルクロスは
職員のお手製とか

2、西南戦争と博愛社の設立 日本赤十字活動はここから始まった

明治10年西南戦争の時に征討総督有栖川宮親王の御宿所になる。その頃元老院議員佐野常民らが敵味方の別なく負傷者の救済を考え親王に願い出て博愛社を設立。日本赤十字社の前身となった。

3、南千反知時代(県施設時代)

明治27年に古城から移築。集議所洋館、熊本工業学校校長室、日露戦争や第一次世界大戦時にはロシア人やドイツ人将校らの收容所として利用された。

4、水道町時代(日赤支部時代)

昭和7年、日赤は熊本県から建物を譲渡してもらい水道町に移築。日赤記念館・日赤熊本県支部事務所として利用。昭和42年まで日赤県支部・血液センターとして利用。

5、水前寺公園時代(動物園跡地)

昭和43年日赤から熊本市に譲渡。昭和45年に動物園跡地に移築。同年熊本市指定有形文化財、翌昭和46年熊本県指定重要文化財になる。平成28年熊本地震で倒壊。

6、水前寺公園時代(電車通り沿い)

令和5年9月から現在に至る。



この建物で
博愛社創立許可
が下りた



動物園跡地時代のジェーンズ邸